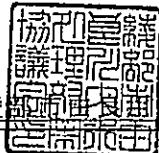


様式第2号（第3条、第7条及び第8条関係）

事業実績書



令和2年3月31日

団体名 綾部市由良川内水処理対策協議会

事業の目的 (何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。)	由良川と四ツ尾山で囲まれた綾部地区から中筋地区で暮らす人々の生命と財産をおびやかす内水被害の減少を図るために、排水ポンプ機場の早期設置とともに、河川や都市下水路などの改修の実現
事業の名称	綾部市由良川内水処理対策協議会
事業費 (市補助金)	183,707円 (50,000円)
補助金の用途 (団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。)	1. 定時総会(5月) 2. 国會議員への陳情活動 3. 事業の円滑な運営を図るため、役員会及びその他の会議の適宜開催 4. その他目的達成に必要な事業
事業実施期日	平成31年4月1日～令和2年3月31日
事業実施場所	井倉町中央公会堂、衆議院及び参議院議員会館、他
事業の概要 (事業の実施方法、内容について記入してください。)	本協議会の目的達成のために、総会及び役員会で具体的取り組み内容について協議を行ってきた。今年度は、参議院議員である足立敏之事務所をはじめとして、京都府に関する議員を訪問し、排水ポンプ場早期実現のために陳情活動を展開した。また、排水ポンプ場の工事が始まり、地元住民の声を届けるため協議会の中に建設委員会を設けた。建設委員会のメンバーを中心となり、下水道事業団、綾部市、建設業者との協議を行い、住民が理解した上で進行するよう要望を行い、地域住民と一緒に活動を展開した。
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	国への陳情活動により、綾部市での内水被害の実態を伝えることができ、対策に向けた着実に推進の一助となる活動に繋げることができた。排水ポンプ場実施設計業務に関する説明を受けるとともに、住民要望を届ける活動を実施し、古川樋門における排水ポンプ機場の早期設置のためにも継続した取り組みを進めたい。

様式第4号(第3条関係)

収支計算書

2年3月31日

団体名 綾部市雨水利用水処理対策協議会



(単位 円)

区分	予算額	収入済額	明細
			明細
収入の部	市補助金	50,000	綾部市より
	負担金	45,000	参加団体より
	雑収入	0	
	その他収入	0	役員負担金
	繰越金	0	
合計		95,000	183,707
支出の部	区分	予算額	支出済額
	会議費	15,000	5,147
	事業費	70,000	178,560
	事務費	8,000	0
	雑費	2,000	0
合計		95,000	183,707
差引		0	0